CASBEEあいち

▮評価結果▮

Q3 室外環

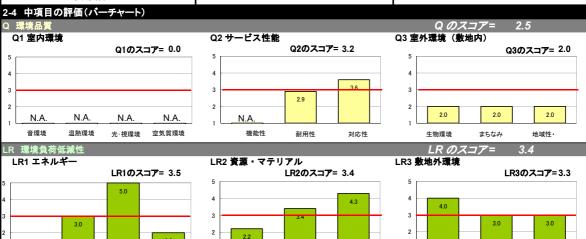
(敷地内)

LR3 敷地外環

アル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI







___ 非再生材料の

水資源

汚染物質

地球温暖化

地域環境

周辺環境



各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。 ①地球温暖化への配慮 LR-3 1 地球温暖化への配慮

LR-31 地球温暖化への配慮 ②資源の有効活用 Q-22 耐用性・信頼性、Q-23 対応性・更新性 LR-22 非再生性資源の使用量削減 ③敷地内の緑化

NΑ

建物外皮の

自然エネ

設備システ

効率的

Q-31生物環境の保全と創出

中高木の樹冠の水平投影面積+低木・地被等の植栽面積 ×100 外構緑化指数=

敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた

建物緑化指数=

屋上緑化面積+壁面緑化面積 建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

	安体影社の酵									
スコアシ	ノート 実施設計段階	**		7246-0-4-1	****	# m **×		4.0	2 to 40 /\	
□慮項目	3	独自基準	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共月		乗用制 を 重み			旧部分 重み	┨
		重点項目	AR-96日に加設以前 V74K3で16ノへ1開	評価点	評価点	係数	評価点	評価点	係数	
	を物の環境品質						l			2
1 室内	村環境					-			-	
1 音環	製境			88888	- 1	-	XXXX	RXXXX	-	
	.1 室内騒音レベル				<u> </u>	-	SSSSS	88888	-	\vdash
	.2 遮音			00000	-		OXXXX	XXXX	_	1
"				 	_		88888	55555		
	1 開口部遮音性能			RXXXX	- 1	-	XXXX	RXXXX	-	1
	2 界壁遮音性能			100000	~~~	-	KXXXX	88888	-	
	3 界床遮音性能(軽量衝擊源)			₩	XXXXX	-	XXXXX	RXXXX	-	1
	4 界床遮音性能(重量衝擊源)			1000000	XXXXX	-	XXXXX	1000000	-	ı
1.	.3 吸音				^^^^	-	XXXXX	RXXXX	-	
2 温製				2000	-	-	XXXX	XXXXX	-	
	.1 室温制御			88888	-		****	88888		-
4.				KXXXXX	_	-	XXXX	KXXXX	-	ı
	1 室温			1000000	1 - 1	-	KXXXX	88888	-	1
	2 外皮性能			RXXXX	- 1	-	XXXX	RXXXX	-	ı
	3 ゾーン別制御性			1000000	- 1	-	188888	888888	-	1
2.	.2 湿度制御			RXXXX	- 1	-	XXXXX	RXXXX	-	ı
2.	.3 空調方式			1000000	- 1	-	1000000	1000000	-	1
	視環境			100000	-	-	KXXXX	XXXXX	-	
	.1 昼光利用			- XXXXX	-	-	18888	XXXXX		
3.		I		00000			8888	88888		
	1 昼光率	1		KXXXX	kxxxx	-	KXXXX	KXXXX		
	2 方位別開口	1	1	B8888	*****	-	KXXXX	K8888	-	
	3 昼光利用設備	1	1	XXXXXX		-	XXXXX	$\Diamond \Diamond \Diamond \Diamond \Diamond \Diamond$	-	
3.	.2 グレア対策	1	1	88888	-	-	XXXXX	888888	-	
	1 昼光制御	1	1	XXXXX	- 1	-	RXXXX	XXXXX	-	
3	.3 照度			1000000	1	_	KXXXX	88888	_	ı
	.4 照明制御			₩	1 .		XXXXX	RXXXX		ı
				10000			100000	100000		⊢
	《質環境				-	-	XXXX	∞	-	┺
4.	.1 発生源対策			500000	-	-	XXXXX	8888888	-	ı
	1 化学汚染物質			88888	-	-	XXXX	XXXXX	-	ı
4.	.2 換気			XXXX	-	-	XXXX		-	ı
	1 換気量			52586525	- 1	-	88888	88888	-	ı
	2 自然換気性能			1888888		_	XXXX	KXXXXX	_	ı
				1000000	1		KXXXX	88888		ı
<u> </u>	3 取り入れ外気への配慮			XXXXX		-	XXXX		-	ı
4.	.3 運用管理			8888	-	-	XXXX	XXXXX	-	ı
	1 CO ₂ の監視			RXXXX	-	-	RXXXX	⋘⋘	-	ı
	2 喫煙の制御			XXXXX	-	-	88888	88888	-	
! サー	ービス性能				_	0.43		-	-	
1 機能	性			88888		-	88888	888888	-	П
				XXXXX	-	-	XXXXX	****	-	т
1 "	1 広さ・収納性			100000			22222	RXXXX		1
				1000000	-	_	KXXXX	KXXXX	_	ı
	2 高度情報通信設備対応	W. J.		RXXXX	- 1	-	XXXXX	RXXXXX	-	ı
	3 バリアフリー計画	独自	l	₩		-	XXXXX	XXXXX	-	
1.	.2 <u>心理性·快適性</u>	I		2000	-	-	XXXXX	<u> </u>	-	
	1 広さ感・景観 (天井高)	I		XXXXX	-	-	KXXXX	\$ \$\$\$\$\$	-	
	2 リフレッシュスペース	1	1	B88888	-	-	KXXXX	KXXXX	-	
	3 内装計画	Ī		188888		-	RXXXX	KXXXX	-	
1	.3 維持管理	1	1	1000000	-	_	XXXXX			
	1 維持管理に配慮した設計	I		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\			****	XXXXX		
		1	1	1000000			XXXXX	(XXXXXX)	_	
A T	2 維持管理用機能の確保	 		DXXXX		-	DOXXXX	VXXXX	-	-
	月性・信頼性				2.9	0.52	XXXXX	*****	-	┖
2.	.1 <u>耐震·免震·制震·制振</u>			\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	3.0	0.48	XXXX	88888X	-	
	1 耐震性(建物のこわれにくさ)			XXXX	3.0	0.80	XXXX	XXXXX	-	
	2 免震·制震·制振性能			10000000	3.0	0.20	XXXXX	888888	-	
2	.2 部品・部材の耐用年数			₹	3.3	0.33	XXXXX	XXXXX	-	
	1 躯体材料の耐用年数			2000	3.0	0.23	XXXXX	XXXXXX		
		(2)		₩	3.0	0.23	KXXXX	XXXXX		
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	2		1000000			XXXX	XXXXXX	-	
				RXXXX	3.0	0.09	KXXXX	888888	-	
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			XXXX	3.0	0.08	XXXX	KXXXXX	-	
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔			DXXXX		0.45	KKKKKK	1688888	_	
			給水管、給湯管、汚水管、雑排水管:B	KXXXX	5.0	0.15		CXXXX		
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔 5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管、給湯管、汚水管、雑排水管:B	*****	3.0		8888	*****	-	
2	4 空調換気ダクトの更新必要間隔 5 空調・給排水配管の更新必要間隔 6 主要設備機器の更新必要間隔		給水管、給湯管、汚水管、雑排水管:B		3.0	0.23	₩		-	┡
2.	4 空調換気ダクトの更新必要間隔 5 空調・給排水配管の更新必要間隔 6 主要設備機器の更新必要間隔 4 信頼性		給水管、給湯管、汚水管、雑排水管∶B		3.0 2.2	0.23 0.19	****		-	\vdash
2.	4 空調換気ダクトの更新必要間隔 5 空調・給排水配管の更新必要間隔 6 主要設備機器の更新必要間隔 4 信頼性 1 空調・換気設備		給水管、給湯管、汚水管、雑排水管:B		3.0 2.2 3.0	0.23 0.19 0.20			- - -	
2.	4 空調換気ダクトの更新必要間隔 5 空調・給排水配管の更新必要間隔 6 主要設備機器の更新必要間隔 4 信頼性 1 空調・換気設備 2 給排水・衛生設備		給水管、給湯管、汚水管、雑排水管:B		3.0 2.2 3.0 2.0	0.23 0.19 0.20 0.20			- - -	
2.	4 空調換気ダクトの更新必要間隔 5 空調・給排水配管の更新必要間隔 6 主要設備機器の更新必要間隔 4 信頼性 1 空調・換気設備	2	給水管、給湯管、汚水管、雑排水管:B		3.0 2.2 3.0	0.23 0.19 0.20			- - - -	
2.	4 空調換気ダクトの更新必要間隔 5 空調・給排水配管の更新必要間隔 6 主要設備機器の更新必要間隔 4 信頼性 1 空調・換気設備 2 給排水・衛生設備		給水管、給湯管、汚水管、維排水管:B		3.0 2.2 3.0 2.0	0.23 0.19 0.20 0.20			- - - -	

3 対応性·更新性			588888	3.6	0.48	 	-	3.6
3.1 空間のゆとり			RX663X	5.0	0.31	*************************************	-	
1 階高のゆとり			8888	5.0	0.60	888888888888888888888888888888888888888	_	
2 空間の形状・自由さ		倉庫利用が目的なので、広い空間を確保している	8888	5.0	0.40	KXXXXXXXXXX		
		治岸でいる。Ct 位い上間を確休している	XXXX	3.0	0.40	XXXXXXXXXXX	-	
3.2 荷重のゆとり			COXXX			XXXXXXXXX	-	
3.3 設備の更新性			$\infty \infty \infty$	3.0	0.38	***************************************	-	
1 空調配管の更新性	2		XXXX	3.0	0.17	XXXXXXXXXX	-	
2 給排水管の更新性			XXXX	3.0	0.17	XXXXXXXXXX	-	
3 電気配線の更新性			XXXX	3.0	0.11	XXXXXXXXXX	-	
4 通信配線の更新性			XXXX	3.0	0.11	XXXXXXXXXX	-	
5 設備機器の更新性			KXXXX	3.0	0.22	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	-	
6 バックアップスペースの確保			8888	3.0	0.22	XXXXXXXXXX	_	
Q3 室外環境(敷地内)			IXXXX	-	0.57	**********	-	2.0
1 生物環境の保全と創出	独自3		WW.	2.0	0.30	***************************************		2.0
			XXXX			 	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮	独自④		XXXX	2.0	0.40	***************************************		
3 地域性・アメニティへの配慮			XXXX	2.0	0.30	*************	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自④		1000000	2.0	0.50	XXXXXXXXXXX	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			88888	2.0	0.50	XXXXXXXXXXX	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-		-	3.4
LR1 エネルギー				_	0.40	_	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPIm: 0.79 、BEIm: 0.45	8888	\$88888	-	88888888888	-	-
2 自然エネルギー利用			XXXX	3.0	0.28	XXXXXXXXXX	_	3.0
		記集主記署部公が庁! \	XXXX	5.0	0.43	***************************************	-	5.0
3 設備システムの高効率化		設備未設置部分が広い	CGGC			 		
4_効率的運用			XXXX	2.0	0.29	XXXXXXXXXX	-	2.0
集合住宅以外の評価			XXXXX	2.0	1.00	8888888888	-	
4.1 モニタリング			KXXXX	3.0	0.50	KXXXXXXXXXXX	-	
4.2 運用管理体制			8888	1.0	0.50	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	-	
集合住宅の評価			58888	88888	-	XXXXXXXXXX	-	
4.1 モニタリング			00000	XXXXX	_	XXXXXXXXXXX	_	
4.2 運用管理体制			XXXX	XXXXX		××××××××××××××××××××××××××××××××××××××		
			<u> </u>	100000	0.30	200000000000	_	2.4
LR2 資源・マテリアル			 	-		- <u> </u>	-	3.4
1 水資源保護		AL 1 199 DD 187 - TO 188	$\times \times \times$		0.15	************	-	2.2
1.1 節水		節水便器、擬音設備	⊘39 €	1.0	0.40	XXXXXXXXXX	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	XXXXXXXXX	-	
1 雨水利用システム導入の有無			88888	3.0	0.67	XXXXXXXXXXX	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			XXXX	3.0	0.33	××××××××××××××××××××××××××××××××××××××	-	
2 非再生性資源の使用量削減			ROAR OF	3.4	0.63	 		3.4
			100000	2.0	0.07	 		0.7
2.1 材料使用量の削減			KXXXX			***************************************	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			XXXX	3.0	0.25	XXXXXXXXXXXX	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	2	<u> </u>	KXXXX	3.0	0.21	XXXXXXXXX	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	独自	再生密粒度アスファルト混合物(アスファルト舗装)、	RXXXX	3.0	0.21	XXXXXXXXXX	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			XXXX	1 - 1	-	XXXXXXXXXX	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	独自	鉄骨+仕上材の構成により、分別を容易にしている	RXXXX	5.0	0.25	XXXXXXXXXX	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			XX6X2X	4.3	0.22	*************	-	4.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		F☆☆☆☆材の使用		5.0	0.32	************		
3.2 フロン・ハロンの回避			KOGGOO!	4.0	0.68	XXXXXXXXXXX		
			****	7.0	0.00	XXXXXXXXXX	-	
1 消火剤		K I OFF	RXXXX	1 -	0.56	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	-	
2 発泡剤(断熱材等)		グラスウールの使用	XXXX	5.0	0.50	XXXXXXXXXXX	-	
			X888X	3.0	0.50	XXXXXXXXXXXXX	-	
LR3 敷地外環境				_	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮	1	ライフサイクルCO2 排出率73%	88888	4.0	0.33	XXXXXXXXXXX	-	4.0
2 地域環境への配慮			KADOK	3.0	0.33	KXXXXXXXXXXX	-	3.0
2.1 大気汚染防止		燃焼機器設置なし	XXXX	5.0	0.25	XXXXXXXXX	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			KXXXX	2.0	0.50	XXXXXXXXXX	_	
2.2 温然環境悪化の収音 2.3 地域インフラへの負荷抑制			00000	3.0	0.25	XXXXXXXXXXX		
	X4 ==		****			XXXXXXXXXXX		
1 雨水排水負荷低減	独自		RXXXX	3.0	0.25	KXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	-	
2 汚水処理負荷抑制		W 10 1 8 2 10 2 2 10	XXXX	3.0	0.25	XXXXXXXXXXX	-	
3 交通負荷抑制	独自	敷地内駐車場の完備	KXXXX	5.0	0.25	KXXXXXXXXXXXXX	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			XXXX	1.0	0.25	XXXXXXXXXXX	-	
3 周辺環境への配慮			XXXX	3.0	0.33	XXXXXXXXXX	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			XXXX	3.0	0.40	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	-	
1 騒音	独自		XXXX	3.0	1.00	XXXXXXXXXX	-	
2 振動	独自		KXXXX			KXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		
	7X H		XXXX	1		XXXXXXXXXXX	-	
3 悪臭			XXXXX	1 -	0.10	XXXXXXXXXX	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			XXXX	3.0	0.40	XXXXXXXXXXXXXXXX	-	
1 風害の抑制			KXXXX	3.0	0.70	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	-	
2 砂塵の抑制			RXXXX	*****	-	RXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		
3 日照阻害の抑制			XXXX	3.0	0.30	XXXXXXXXXX	-	
3.3 光害の抑制			X900X	3.0	0.20	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	-	
			XXXX			KXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		1
			KXXXX	3.0	0.70	100000000000C	-	
			***	3.0 3.0	0.70 0.30	**********	-	

■使用評価マニュアル<mark>CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引</mark>き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)			全体に対する 全体に対する 重み係数		重点項目スコア	
① 地球温暖化対策					4. 0	
	LR3-1	地球温暖化への配慮	4.0	0.10		
2	資源の有効	活用			3. 2	
	Q2-2	耐震性·信頼性	2.9	0.22		
	Q2-3	対応性·更新性	3.6	0.21		
	LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.4	0.19		
3	敷地内の緑	化			2. 0	
	Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.17	外構緑化:24.9%/建物緑化:0%	
4	地域材の活用		(評価ポイント)		1.0	
	Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	_	なし	
	Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	_	なし	

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化 重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

	計画上の配慮事項
	注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。
総合	敷地の周囲に緑地を配置した。 窓面積を少なくし、騒音や光害の影響を少なくするよう努めた。
Q1 室内環境	注)「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 評価対象外。 F☆☆☆☆の建築材料を使用することで、科学汚染物質発生源対策を行った。
	注)「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
Q2 サービス性能	主用途である倉庫部分は天井高7.3m以上、壁長さ比率0.1以下とし、空間的ゆとりを確保した。
Q3 室外環境(敷地内)	注)「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 敷地の周囲に緑地を配置した。
LR1 エネルギー	注)「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 一般照明機器をLEDとした。
LR2 資源・マテリアル	注)「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 節水型洋便器、自動洗浄小便器、自動水栓、F☆☆☆☆☆仕上材の仕様(塗装材、錆止め、塗床材)を設置した。
LR3 敷地外環境	注)「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 駐車場(従業員+来客)と自転車置場(屋根付)を設置した。
その他	注)上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。